

公立中高一貫校 合格力講座

2020年度 合格へのこの一問!

執筆・早稲田進学会(大島茂) イラスト・青山ゆういち

挑戦!

群馬県立中央中等教育学校・伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校・太田市立太田中学校

2019年度 適性検査Iから抜粋(一部改変)

春香さんたちのクラスでは、総合的な学習の時間に、日本と外国との関わりをテーマにした、班別の学習をすることになりました。春香さんは、外国人旅行者について調べ、メモ1とメモ2を作りました。

問題1 春香さんは、メモを見ながら、話し合いをしました。

メモ1		メモ2	
全国と群馬県の旅行者の人数 (平成29年のホテル・旅館等への宿泊者数)			
(全国)	人数	47都道府県平均人数	
旅行者全体	約5億960万人	約1084万人	
そのうちの外国人	約7969万人	約170万人	
(群馬県)	人数(全国順位)		
旅行者全体	約876万人(18位)		
そのうちの外国人	約29万人(30位)		

(メモ1・メモ2は観光庁「H24～H29 宿泊旅行統計」により作成、宿泊者数はのべ人数)

話し合い

勇一: メモ1を見てみると、群馬県の旅行者全体の人数は、他の都道府県と比べて少ないね。

さやか: そうかな。私は多い方だと思うけど。

航平: 2人のとらえ方がちがうのは、

さやか: 外国人旅行者については、群馬県はどのようなかな。人数を見ると少ないね。

春香: 旅行者全体に対する外国人旅行者の割合を見ても、群馬県は、全国と比べて少ないよ。

勇一: でも、メモ2を見ると、外国人旅行者は年々増えているね。これからも増えていくんじゃないかな。

春香: それなら、わたしたちも外国人旅行者について、もっとくわしく調べてみましょうよ。例えば、外国人旅行者が、何か困っていることはないのかな。

さやか: そうね。わたしたちの班の課題は、「外国人旅行者が困っていることについて調べ、その改善策を考える」にしたらどうか。

勇一: いいと思うよ。そうしよう。

① 群馬県の旅行者全体の人数について、勇一さんは「少ない」と言い、さやかさんは「多い」と言っています。2人のとらえ方が分かれた理由をメモ1から考え、航平さんになったつもりで、アに

資料問題編⑧ 外国人旅行者に楽しんでもらうには

書きましょう。

② 春香さんが、「旅行者全体に対する外国人旅行者の割合を見ても、群馬県は、全国と比べて少ないよ。」と言っている理由を、言葉や数字を使って説明しましょう。

問題2 春香さんたちは、これからの学習の進め方について、次のような計画を立て、インターネットも使って情報を集めようとしています。インターネットで調べた情報をあつかうときには、どのようなことに注意したらよいか、考えて書きましょう。

- 計画
- 外国人旅行者が困っていることに関する情報を集める。
    - 外国人旅行者に接するいろいろな人にインタビューする(観光案内所、ホテル、レストラン、おみやげ店など)。
    - インターネットで外国人旅行者に関する情報を調べる。
    - 図書館の本や資料で、外国人旅行者に関する情報を調べる。
  - 集めた情報を整理する。
  - 整理した情報をもとに、改善策を考える。
  - 考えた改善策をまとめ、改善策を生かす方法を話し合う。
- ↓  
次の活動へ

問題3 春香さんたちは、調べたことを次のように資料Aと資料Bにまとめ、話し合いをしました。

資料A

「日本を訪れた外国人が旅行中に困ったこと」

- 係員や店員との会話ができない。
- 観光案内板、地図などで、英語などの外国語で書かれた表示が少ない。

→ どんとき困ったのか?

- レストランで料理を選ぶとき
- 商品の使い方などについて説明を聞きたいとき
- 目的地までの行き方を調べるとき など

(観光庁「訪日外国人旅行者の受入環境整備における国内の多言語対応に関するアンケート」結果により作成)

資料B

標識とその意味

(非常ボタン) (けい帯電話使用禁止) (情報コーナー) (忘れ物取りあつかい所)

(観光庁「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」により作成)

話し合い

さやか: 資料Aを見ると、外国人旅行者は、日本語がわからなくて困っているようね。

勇一: そうだね。ところで、資料Bのような標識は、禁止や注意、非常時の情報提供のために、日本中で同じものが使われているんだよ。見ただけですぐに意味が伝わるから、外国人にとっても、いざというとき役に立つと思うよ。

航平: 例えば、資料Aにあるように、目的地までの行き方がわからなくて困ったときには、情報コーナーを示す標識が役に立ちそうだね。それなら、それぞれの標識がもっと目立つように、デザインをいろいろ工夫してみたらどうか。

さやか: 勝手にデザインを変えてしまうのはよくないと思うよ。理由は、ア

春香: ほかにどんとき困っているのか、資料Aを見てみましょうよ。確かに、レストランで日本語で書かれたメニューしかなかったり、買い物をするときにお店の人と会話ができなかったりすれば、困るでしょうね。

航平: せっかく来たのだから、気持ちよく料理を食べてほしいし、気に入ったものを買ってもらいたいよね。レストランやお店の人たちがどんな工夫をすれば、外国人旅行者の役に立つのかな。言葉にたよらない方法があるといいね。

勇一:

さやか: それはいい考えね。このことについて、もっと調べたりまとめたりして、レストランやおみやげ店などに提案できたらいいかもしれないね。

春香: そうね。次は、提案先や提案の仕方についても、みんなで考えていきましょう。

① 資料Bのような標識について、さやかさんが、勝手にデザインを変えてしまうのはよくないと言っているのはなぜですか。さやかさんになったつもりで、アに理由を書きましょう。

② 航平さんは「レストランやお店の人たちがどんな工夫をすれば、外国人旅行者の役に立つのかな。言葉にたよらない方法があるといいね。」と言っています。どんな方法が考えられますか。勇一さんになったつもりで、イに100字以上120字以内で書きましょう。

解説・解答を見ないで、まず自分で分析してみよう!



- 問題1 数量が平均値の上か下か、順位が上位か下位かとは連動するものではないので、どちらに着目するかで見方が分かります。
- 問題2 インターネット上の情報は、系統立てて整理されて出てくるものではなく、年度、出典、視点など多様なので見極めが大切。
- 問題3 共通言語といえる英語がありますが、日本の社会では定着しているといえないので、目という視覚に訴える手段が有効ですね。



問題1 ① ア(例) 勇一さんは都道府県平均人数と比べて少ないから「少ない」ととらえ、さやかさんは全国の順位から見ると真ん中より上だから「多い」ととらえているんじゃないかな。

② (例) 外国人旅行者の旅行者全体に対する割合が、全国では約16%なのに、群馬県では約3%だから。

問題2 (例) 正しい情報とそうでない情報が交じっているので、複数の情報を比べたり、本などで確かめたりする必要がある。

問題3 ① ア(例) 標識は、だれが見ても同じ意味に理解できることが大切で、勝手に変えてしまうと、それを見る人が、意味が分からなかったり、ちがう意味にとらえたりするかもしれないからだよ。

② イ(例) レストランでは、メニューに写真をたくさん使ったり、作り方や材料をイラストで示したりして、見るだけでどんな料理かわかるようにしたらどうか。お店では、商品を使っている動画や図があったり、実際に商品を試せるコーナーがあったりするといいよね。

<水曜に掲載します>